

令和3年11月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年11月1日(月) 午後1時30分～午後2時10分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、NHK、KNB、NICE-TV

市当局出席者：市長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 令和4年度魚津市行政経営方針について

- ・魚津市のワクチン接種状況は、対象者のうち80%を超える方が2回目のワクチン接種を終えているが、感染症の影響により停滞した経済活動や疲弊した地域経済の回復には時間がかかるものと思われる。一方で、市民の生活様式や働き方はDXの推進やテレワークの導入など大きく変化している。また、ゼロカーボンへの取組も加速する必要がある。本市も大きな変革をチャンスと捉え、積極的に取り組みを進めたい。
- ・加えて、令和4年度の財政状況は、感染症の影響による市税等の減収は不透明な部分がある。一方で公債費や社会保障関係費の増嵩などにより財源不足が生じることが見込まれるため、引き続き行財政改革に努める。なお、令和4年度の財政見通しについては、歳入は今年度並み。歳出は統合校のために借りた市債の返済が本格化して公債費が約1億数千万円の増、後期高齢や介護の特別会計へ繰り出しが約1億円増、DXにも関連するが庁内のネットワーク機器の更新や温水プールの建設に約2億円増で計4億円半ばの増加（財源不足）を見込んでいる。これに対しては、財政調整基金の取り崩しにはなるべく頼らずに目的に沿った形で、地域づくり基金や減債基金などを活用したい。それでも足りないと思われる約1億円の財源については、予算査定で対応していきたい。
- ・本市においても、人口が40,000人を割り込み、危機感を持っている。令和3年度からスタートした第5次魚津市総合計画に記載されている人口減少対策への取り組みを強化していきたい。柱としては若者や女性が魚津に暮らしてもらうための施策に全力投球したい。同時にあらゆる分野で魚津の内と外の交流を拡大していく「関係人口の拡大」にも積極的に取り組んでいきたい。具体的に一例を挙げ

るとスポーツコミッションの取り組み、魚津の自然を活かした新たな観光コースづくり、日本風景街道「蜃気楼ロード」での自転車を利用した活動など。

- ・本市は、令和4年度に市制施行70周年を迎える。記念事業を展開していくが、地域や民間企業と連携して魚津市の誇り「シビックプライド」の醸成につながる取り組みを目指したい。

(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

(2) 第1回ミラたんカップ・魚津市ボッチャ大会開催について

- ・令和3年11月6日(土)にありそドームで開催する。1チーム2~6人のチームでの参加とし、参加資格は魚津市内に在住または、勤務・通学する人。年齢、性別の制限や障がいの有無は問わない。気軽に参加して欲しい。ボッチャの街を目指している。
- ・なお、本事業は連携協定を締結している明治安田生命保険相互会社から協力を得ている。

(3) 親子によるプラスチックごみ調査の開催について

- ・片貝川の「やなば」にてプラスチックごみの調査を行う。同時にサケの手づかみ体験も行う。日時は令和3年11月6日(土)の午前8時30分~午前9時30分。場所は落合橋より約200m下流の片貝川の「やなば」。「やなば」にかかったビニールやプラスチックのごみを分類し、種類やその数量や重量を調査し知ってもらう取り組み。魚津市では初めての開催。

(4) 大塚製薬様よりさんさん介護予防倶楽部「じゃ〜んとこい」参加者の方へカロリーメイトが進呈されます

- ・魚津市と「包括連携協定」を締結している大塚製薬様の協賛により「カロリーメイト・リキッドタイプ」400本を提供していただくこととなった。令和3年11月9日(火)に介護予防通所型事業「さんさん介護予防倶楽部じゃ〜んとこい」が開催されている魚津ショッピングスクエアサンプラザ4階大ホールで進呈セレモニーを行う。大塚製薬株式会社からは名古屋支店富山出張所の山本所長が出席される。

(5) 寄附金の受領における感謝状等の贈呈について

- ・株式会社シキノハイテック様より200万円の寄附を受けた。寄附の目的は、魚津市の健康づくりや子育て、若者の育成を支援し、明日を担う人づくりを支援する

ため。寄附金により「シキノハイテック魚津市人づくり基金」を創る。寄附金はすでに令和3年10月19日（火）にいただいている。感謝状の贈呈はこの記者会見のあと、令和3年11月1日（月）の14時30分から市長公室にて行う。

- ・参考までに、平成23年度にも(株)シキノハイテック様からの寄附金300万円を原資として「青年技能者育成支援基金」が創設されている。この基金を活用し、これまで「ものづくり青年技能者の全国大会等出場に対する激励金」を交付している。

(6) 「とれたて」魚津産野菜の贈呈式を開催します！

- ・魚津市野菜出荷協議会から市内老人福祉・医療施設および保育施設へ『とれたて』の魚津産野菜を贈呈するもの。平成9年から行っており、本年で25回目となる。令和3年11月9日（火）の10時から魚津市役所3階大会議室で行う。大根、白菜、ねぎ、小松菜を医療・福祉施設代表者、保育施設代表者へ贈呈する。

(7) 魚津の農林水産業体験・応援プロジェクト

- ・魚津の農林水産業を親子で学ぶ「親子体験会」を、7つのコースで1年間にわたり行っている。11月に開催する「親子体験会」は、「さかな」、「くだもの（6次化）」、「くだもの（産地）」の3つのコースで体験会を行う。

2. 質疑応答の内容

「令和4年度魚津市行政経営方針」について

《記者からの質問》

令和4年度の財政見通しで、歳入が今年度並みというのはどういう内訳か。また、昨年の行政経営方針においては、事業費ベースで総額5千万円程度の子ども・豊かな自然枠があったが、令和4年度は社会構造対応枠が1億円用意されている。増額した思いは。また、ゼロカーボンシティに向けた取組について、再生可能エネルギーやエネルギーの地産地消に取り組むとのことだが、具体的には小水力発電のイメージか。

《回答》（市長）

市民税と法人市民税はコロナ禍の影響により前年比マイナスとなる見込みだが、固定資産税は市内の大企業で大型投資を実施したところがあるため増加する見込みとなった。合わせるとほぼプラスマイナスゼロとなる。社会構造対応枠については、コロナ禍で2年間我慢してもらっている市民に希望を持ってもらえるような取り組みをしたい。財政調整基金を取り崩さなくても予算が組めるようになり、財政状況も少しずつ改善しているのでそれを目に見える形で伝え、新しい時代に対応することを示

す予算としたい。再生可能エネルギーについては、国では代表的なものとして太陽光と風力を挙げているが、我々の地域では水が代表的なエネルギー源なのでそれを追求していきたい。

「市制施行70周年と記念事業」について

《記者からの質問》

魚津まつり実行委員会と記念事業について協議しているのは、8月の魚津まつりに合わせて記念事業を実施するためなのか。

《回答》（市長）

令和4年度の1年間を通じて記念事業を行う予定だが、その中でも1番大きいイベントは魚津まつりになる。この2年間コロナ禍で開催できていないので、どのように実施できるか今年度中から話し合いを進めている。

「衆議院議員選挙」について

《記者からの質問》

衆議院選挙で上田候補が当選した結果についてどう受け止めているか。また、越川候補が準備期間が少ない中で比較的票を伸ばしたことについてどう思うか。

《回答》（市長）

前々回の衆議院選挙の投票率が47%、前回は50%で今回が53%だった。投票率が上がってよかったと思っている。選対統括責任者としては、上田候補がそれなりの得票数を得て当選できたのでよかったと思っている。上田候補は行動力がある方で、希望と責任ある政治を行うといつも話しておられる。上田候補と共に魚津市の希望を形にして行く取り組みを行っていきたい。越川候補については、魚津市は過去から比較的革新系の票がある地域であり、それに加えて魚津市出身であることが得票数が伸びた要因だと思っている。

「新田富山県知事の県政」について

《記者からの質問》

新田県知事が就任して1年が経過したがどのように評価をされているか。また、どのような課題があると思うか。そして、先週開催された「ワンチームとやま連携推進本部会議」で公表された県の子ども医療費助成の拡充についてはどう思うか。

《回答》（市長）

市町村の声を聴こうとする姿勢が非常に強いと感じる。そのためコミュニケーションが良く取れている。これからも共に地域課題の解決に取り組みたい。課題についてはこれとってないが、強いて言えば県庁組織全体としてスピード感が足りないのではないかと思う。子ども医療費助成の拡充については前向きな取り組みに感謝した

いと思う。他の首長（市町村長）も言っておられたが、例えば「義務教育の年齢まで助成する」と方針を示してもらい、それに向けて段階的に進める形の方がスタンスとしてわかりやすいと思う。